

2024年度 総合型選抜 募集要項

第一次選抜への出願者用



東北学院大学

個人情報について

出願時にご記入いただいた個人情報および試験結果については、厳重に管理します。

以下の場合を除き、個人情報をどのような形式であれ利用することはありません。

○ 入学生の入試結果を、本学における教育の目的で利用することがあります。その場合には、統計データとしての処理を主とし、個人情報については、学内規程により特に許可された場合のみ、厳しい管理基準の遵守のもとに、当該学部等に提供することとします。

受験上及び修学上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な場合、出願前（入学検定料納入前）の6ヵ月前（A日程は3ヵ月前）までに必ずアドミSSIONズ・オフィスへ連絡してください。また、入学後の修学上の配慮を希望する場合も必ずアドミSSIONズ・オフィスへ連絡してください。場合によって、本学のキャンパスを見学することもお勧めいたします。

申請の流れは下表に従ってください。必要な場合、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

【申請の流れ】

① 東北学院大学入試部アドミSSIONズ・オフィスに連絡。



② 東北学院大学入試部アドミSSIONズ・オフィスより、「受験上及び修学上の配慮申請書」の書類を取得。



③ 必要事項を記入した書類に加え「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピーを提出。



④ 東北学院大学入試部アドミSSIONズ・オフィスより申請内容について、回答をいたします。

提出書類	「受験上及び修学上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピー
申請期限	出願前の6ヵ月前（A日程は3ヵ月前）までに申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミSSIONズ・オフィス TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、募集要項等に記載されている内容（選抜の方法・日程・会場など）に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

東北学院大学の3つの方針

本学では①入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）、②学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、③教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、入学者選抜を行ないます。各ポリシーの詳細は本学ホームページ（URL：<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html> または右記QRコード）より確認することができます。出願される際は必ず内容を確認してください。



目的

総合型選抜の目的は、本学の建学の精神と教育方針を理解し、本学への入学と勉学に強い意欲をもつ方の中から、多面的かつ総合的な審査・評価を通じて、本学入学者にふさわしい方を選抜することにあります。

募集定員

学部	学科	A日程	B日程
文学部	英文学科	23名	2名
	総合人文学科	6名	1名
	歴史学科	20名	2名
	教育学科	10名	2名
経済学部	経済学科	33名	2名
経営学部	経営学科	42名	2名
法学部	法律学科	30名	4名

学部	学科	A日程	B日程
工学部	機械知能工学科	10名	2名
	電気電子工学科	11名	2名
	環境建設工学科	14名	2名
地域総合学部	地域コミュニティ学科	15名	3名
	政策デザイン学科	18名	3名
情報学部	データサイエンス学科	17名	3名
人間科学部	心理行動科学科	26名	3名
国際学部	国際教養学科	15名	3名

出願資格

次のすべてに該当する方です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2024年3月までに取得見込みの方
- (2) 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- (3) 出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

選 抜 方 法

第一次選抜と第二次選抜の評価を総合して合否を判定します。

第一次選抜

- (1) 「第一次選抜審査申請書」など出願書類を提出し、それをもとに書類審査と面接を行います。面接日時は出願期間終了後に決定し、「第一次選抜面接日時のお知らせ」をWEB出願サイトのマイページで公開します（面接期間初日の7日前までにWEB出願サイトに登録したメールアドレスに通知します）。なお、書類審査の結果により面接を行わない場合があります。
- (2) 書類審査と面接（経済学科はグループ・ディスカッションおよび個人面接、法律学科・地域コミュニティ学科・政策デザイン学科はプレゼンテーションおよび個人面接）によって、A、B、C、Dの4段階で評価します。評価結果は評価通知日に合否照会システムで確認することができます。
- (3) 評価は出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかについて、多面的・総合的に行います。
英文学科では英語資格・検定試験 [ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、TOEIC L&R /TOEIC S&W、TOEFL iBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT] の成績を第一次選抜の得点に反映させます（2年以内に受験した試験の成績を利用可能とします）。

第二次選抜

合否判定は小論文・面接の結果と第一次選抜における評価を総合し、合格者を選抜します。

試 験 内 容

第一次選抜

(1) 面接

基本的に個人面接形式で行います（30分程度）。出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかなどについて質問をします。学科によっては独自の方法をとることもあります。下表を確認してください。

学 科 名	説 明 内 容
英 文 学 科	英語資格・検定試験の成績証明書を保持している方は、面接時に持参してください（証明書のコピーは不可）。
経 済 学 科	経済学科では1組4人程度でグループ・ディスカッションを行います。所要時間は40分程度です。試験開始時にディスカッション用の資料が配られ、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめます。その後30分で、出題されたテーマについて討論を行います。
法 律 学 科	法律学科では「法または政治」に関して下記に提示されたテーマから1つを選び、調べた内容、自分の考えなどを5分程度でプレゼンテーションしてもらいます。それらについて論理的に道筋を立てて表現することができているかなどを総合的に評価します。 今年度のプレゼンテーションのテーマは「ロシアによるウクライナ侵略のどこが問題か?」「SNS上の表現の自由は規制することができるか?」の2つです。 なお自分で作成した紙面での資料を用意して構いません。その際にはご自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。
地 域 コミュニティ学科	地域コミュニティ学科では、「よりよい地域づくり」のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度のプレゼンテーションをしてもらいます。取り上げる内容への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などが総合的に判断されます。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。
政 策 デザイン学科	政策デザイン学科では「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに、自分で調べた内容を5分程度でプレゼンテーションしてもらいます。発表の方法は①スケッチブックやコピー用紙など、手で持てるサイズの紙面に発表内容をまとめ、提示しながら口頭で説明する方法（ご自身のもの以外に、2部同じ資料を用意ください）。②大きな模造紙に発表内容をまとめ、黒板に貼り、提示しながら口頭で説明する方法の2通りです。（電子機器を利用した発表はできません）

【ポイント】法律学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションについて

〈法律学科〉

法律学科ではプレゼンテーションの準備や発表のヒントを「総合型選抜の手引き」として法学部のウェブページに掲載しています。資料作成や発表準備の参考にしてください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/sougou.html>

〈政策デザイン学科〉

プレゼンテーションのテーマについては、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。また地域社会の課題というのは、少子高齢化、地域福祉、地方財政、経済格差、地域振興、労働問題、災害と復興、市民活動、ジェンダー、多文化共生、差別問題などです（これ以外でも構いません）。なお、プレゼンテーション内容が第一次選抜審査申請書の「探究学習」と内容が同じでも構いません。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切にできているか」です。

第二次選抜

(1) 小論文

【文学部・経済学部・経営学部・法学部・地域総合学部・情報学部・人間科学部・国際学部】

与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。（60分：800字程度）

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。（60分：600字程度）

(2) 面接

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。（5～10分程度）

試験日程

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間	評価通知日	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	9月 1日(金) ～ 9月 7日(木) 15時必着	9月23日(土) ～10月 8日(日)	10月17日(火) 15時	10月26日(木) ～11月1日(水) 15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	12月 1日(金) 10時
B日程	11月 1日(水) ～11月 6日(月) 15時必着	11月25日(土) ～11月26日(日)	12月 1日(金) 15時	12月 5日(火) ～12月8日(金) 15時必着	12月16日(土)	12月22日(金) 10時

- 第一次選抜の面接日は、上記面接期間の土曜日または日曜日に実施します。
- 第一次選抜面接日時のお知らせは、面接期間初日の7日前までにWEB出願サイトのマイページで印刷できるようになります。（WEB出願サイトに登録したメールアドレスに通知します）。必ずマイページで第一次選抜面接日時のお知らせを印刷し、試験当日にご持参ください。
第一次選抜面接日時のお知らせは本学から郵送しません。
- A日程第二次選抜の試験日は上記のどちらかの日にちとなります。

《出願上の注意》

- A日程に出願した方は、B日程で同じ学科には出願できません。※異なる学科であれば出願できます。
- 出願は締切日の15時必着です。
- 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- いったん納入された入学検定料および提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。

試験場

第一次選抜	五橋キャンパス
第二次選抜	五橋キャンパス

出願手続

第一次選抜

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の送付」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト

(https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html または右記QRコード) にアクセスし、出願登録を開始してください。



出願書類

- (1) 入学志願票 インターネット上で出願登録をし「入学志願票」をA4判普通紙に印刷の上、提出してください。
- (2) 出身学校の調査書等（高等学校もしくは中等教育学校卒業見込みの方は不要です）

出願資格		調査書等
学校を既に卒業した方		出身学校の「調査書」（厳封されたもの）
高等学校卒業程度 認定試験	受験している方	「受験票のコピー」
	既に合格した方	「合格成績証明書」（厳封されたもの）

※写真データ インターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものをご準備ください。

下記書類は本学ホームページ (<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html> または右記QRコード) より取得し、提出してください。



(3) 第一次選抜審査申請書

本学所定の用紙（上記URLまたはQRコードより取得）をA4判普通紙に片面印刷し、記入してください。写真を貼付してください（カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したもの）

《出願上の注意》

- (1) 出願書類は市販の角型2号の封筒（A4判普通紙が折らずに入る封筒）を使用してください。
- (2) 出願書類は必ず郵便局窓口から簡易書留・速達で、受付期間内に必着するようアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
- (3) 出願書類の記載については、誤りのないよう正確に入力してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
- (4) いったん納入された入学検定料及び提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。

第二次選抜

- (1) 第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が、第二次選抜へ出願できます。
- (2) 第二次選抜募集要項は、本学ホームページ上で公開します。
第二次選抜の出願手続は、第二次選抜募集要項にしたがって行ってください。

入学検定料

第一次選抜：10,000円

第二次選抜：23,000円

納入方法

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアでの納入となります。
金融機関からの納入はできません。

試験当日

《第一次選抜受験上の注意》

- (1) 面接日時・場所はWEB出願サイトの「マイページ」から「第一次選抜面接日時のお知らせ」をダウンロードして確認してください。
- (2) 面接開始時間の20分前までに受付を済ませてください。
- (3) 受験をやめる場合、遅刻しそうな場合は、必ず電話でアドミッションズ・オフィスまで連絡してください。
- (4) 「第一次選抜面接日時のお知らせ」、筆記用具、身分証明書を持参してください。その他、自分の実績や資格などを証明するもの（資格取得を証明する書類、賞状などのコピー）があれば持参し、面接の先生に提出してください。
英文学科受験者で、英語資格・検定試験の成績証明書を保持している方は、面接時に持参してください（証明書のコピーは不可）。

結果の発表

第一次選抜（評価）

合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンでA・B・C・Dの評価を確認することができます。

第二次選抜（最終的合否）

A日程：2023年12月 1日(金) 10時

B日程：2023年12月22日(金) 10時

合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

なお、出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格は取り消されます。

入学手続

入学手続は、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了となります。詳細は合格発表日から大学ホームページに掲載される「入学手続要項」を参照してください。

入学手続期限

A日程：2023年12月20日(水) } 15時必着 ※郵送・窓口受付
B日程：2024年 1月10日(水) }

合否照会システムについて

1. 利用方法

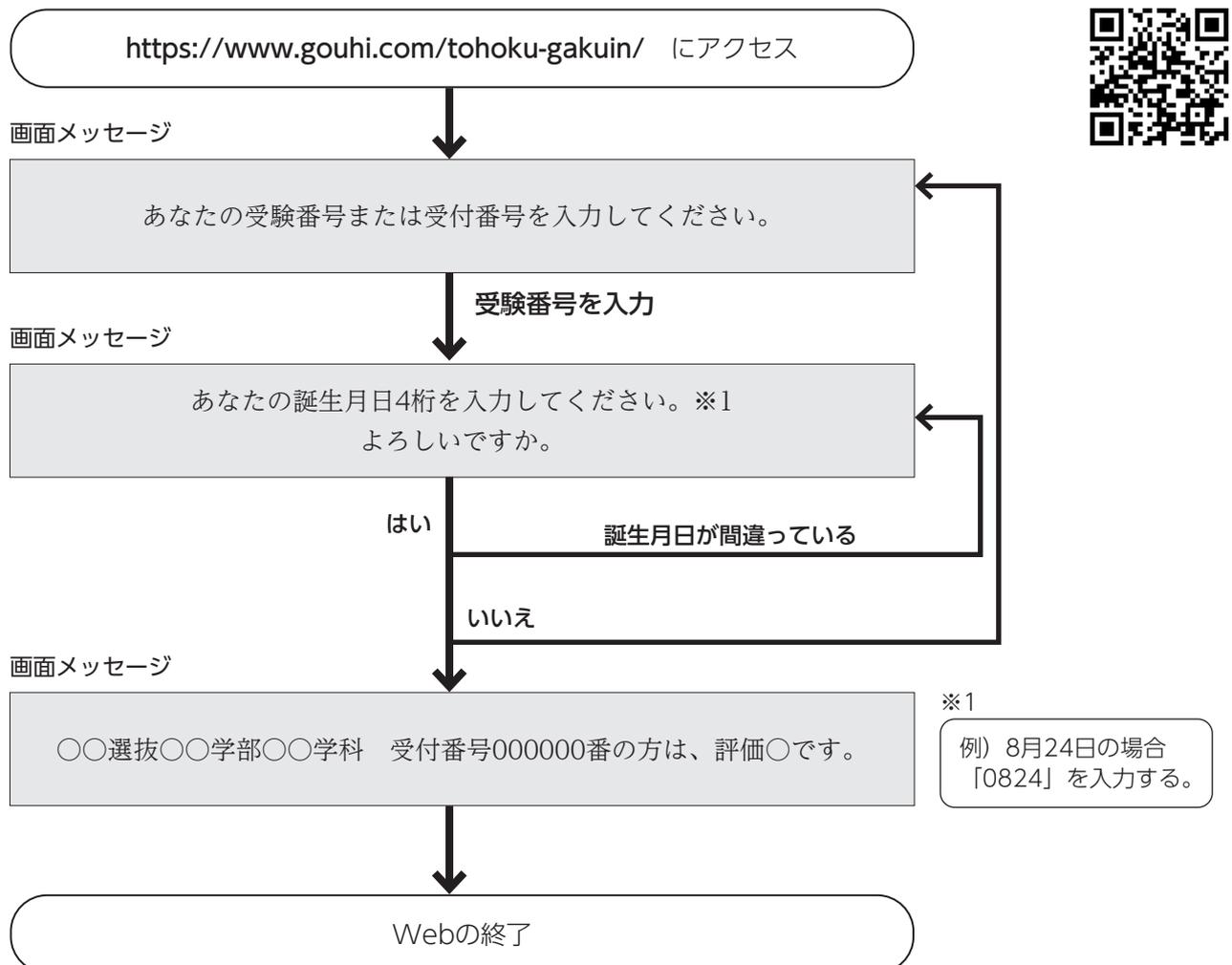
- (1) 本システムでは受験番号（6桁）と誕生日（4桁）を利用します。操作方法をご参考の上、ご利用ください。
- (2) 操作方法や受験番号等に関する問い合わせには応じられません。受験生本人以外の方が本システムをご利用の際は、必要事項をあらかじめ本人に確認・了承の上、ご利用ください。

2. 利用上の注意

- (1) 本システムは以下の期間のみ利用できます。
A日程第一次選抜評価通知 2023年10月17日(火) 15時～10月21日(土) 17時
B日程第一次選抜評価通知 2023年12月 1日(金) 15時～12月 4日(月) 17時
- (2) 評価通知日（案内開始直後）は、Webでの通信が遅くなったりする恐れがあります。そのような場合は少し時間をずらしてご利用ください。
- (3) 本学への電話等による評価、成績に関する直接の問い合わせには一切応じられません。

3. 操作方法

- (1) Webによる評価の確認方法（パソコン・スマートフォンでの確認方法）



学生納付金等

[2023年度参考] (単位:円)

	文学部英文学科・総合人文学科 歴史学科・経済学部 経営学部・法学部			工学部			文学部教育学科 地域総合学部・人間科学部 国際学部			情報学部		
	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計
※ 入 学 金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	390,000	390,000	780,000	539,000	539,000	1,078,000	437,000	437,000	874,000	437,000	437,000	874,000
施設設備資金	105,000	105,000	210,000	130,000	130,000	260,000	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
実験実習料				35,000	35,000	70,000				35,000	35,000	70,000
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
学生納付金計	775,000	505,000	1,280,000	984,000	714,000	1,698,000	842,000	572,000	1,414,000	877,000	607,000	1,484,000
後援会費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
※同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同窓会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	800	0	800				800	0	800	800	0	800
工学会費				500	0	500						
※学生会入会費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000
学生会費	6,000	0	6,000	6,000	0	6,000	6,000	0	6,000	6,000	0	6,000
諸会費計	29,800	0	29,800	29,500	0	29,500	29,800	0	29,800	29,800	0	29,800
1 年 次 合 計	804,800	505,000	1,309,800	1,013,500	714,000	1,727,500	871,800	572,000	1,443,800	906,800	607,000	1,513,800
2～4年(毎年)	530,800	505,000	1,035,800	739,500	714,000	1,453,500	597,800	572,000	1,169,800	632,800	607,000	1,239,800
合 計	2,397,200	2,020,000	4,417,200	3,232,000	2,856,000	6,088,000	2,665,200	2,288,000	4,953,200	2,805,200	2,428,000	5,233,200

①2024年度学生納付金等については、上記の金額が変更されることがあります。

決定次第大学ホームページで発表します。

②本学学生納付金は、スライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。

③※印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。

④入学年度後期の学生納付金は10月に納入することになり、その振込依頼書は7月下旬を目安に送付します。

⑤入学翌年度からの学生納付金は、一括又は前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになり、その振込依頼書は4月下旬を目安にまとめて送付します。

授業ではノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続きの際にお知らせいたします。

「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、授業開講日において、土樋キャンパスの礼拝堂と五橋キャンパスの押川記念ホールで定められた時間に、聖書を読み、説教に耳を傾け、祈をささげます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。第二次選抜試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が対応いたします。

総合型選抜における重要評価点（学科別）

学部・学科		重要評価点
文学部	英文学科	<ol style="list-style-type: none"> 十分な学力の裏付けがあること。 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること(第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある)。英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書(コピー不可)を第一次選抜の面接時に持参すること。 知的好奇心が旺盛であること(第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある)。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学プランをもってのこと。
	総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有していること。 英語をはじめとした基礎学力を有していること。 読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもってのこと(第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある)。 社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。
	歴史学科	<ol style="list-style-type: none"> 歴史に関する基礎知識を有していること。 歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある)。 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。
	教育学科	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。 人の学びと教育に関して、強い関心をもってのこと。 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもってのこと。
経済学部	経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 国語・数学・英語の基礎学力が十分にあること。 経済学科の理念、教育目標・到達目標について理解していること。 経済学科の開講科目に強い関心を持ち、学び目的がはっきりしていること。 社会・経済の動きに強い関心を持ち、その背後にある理由や解決策を探究したいという強い意欲を持っていること。 論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。
経営学部	経営学科	<ol style="list-style-type: none"> 国語・数学・英語の十分な学力があること(面接では左記科目の学力を確かめることを目的とした質問をする場合がある)。 本学部を志望する経緯について明確に説明できること。 本学部で何を学び、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、それを実現するための学修プランをもってのこと。 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、深く掘り下げて調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること(第一次選抜の面接において、説明してもらう場合がある)。
法学部	法律学科	<ol style="list-style-type: none"> 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部の水準に達していること。 文章を正しく理解するために必要な読書の習慣があること。 ニュースに定期的に接する(具体的には、新聞を読む、その他のメディアで視聴すること)により、法や政治への関心や知識をもってのこと。 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっていること。 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できること(第一次選抜の際に、「法または政治」に関する事柄をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。
工学部	機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもってのこと。 総合型選抜により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもってのこと。 学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉学に対する意欲をもってのこと。
	電気電子工学科	<ol style="list-style-type: none"> 電気電子工学科の教育内容を十分に理解したうえで、総合型選抜を選択した理由、勉学動機と目標を明確に説明できること。 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもってのこと。
	環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> 環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。 環境、土木、建築で不可欠な科目(数学、力学、計画、設計製図、実験など)を学ぶ強い意欲があること。 環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。
地域総合学部	地域コミュニティ学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学科で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。 「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探究・解決しようとする意欲があること(第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。 校外での活動に積極的に取り組んできた経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明できること。 将来も地域に積極的にかかわっていかうとする明確な目的と意欲をもってのこと。
	政策デザイン学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 本学科で学びたいという明確な意志をもっており、審査申請書について自分の言葉で適切に記述し説明できること。 地域が抱える具体的な社会課題に関心をもち、関連する事柄を深く調べたうえで自分の言葉で筋の通った説明ができること(第一次選抜の際に「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。 地域課題の解決に貢献しようとする意欲をもってのこと。
情報学部	データサイエンス学科	<ol style="list-style-type: none"> 大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報科学系、数理科学系、社会科学系のいずれかの科目に強い関心をもってのこと。 本学科のカリキュラムを理解し、目的意欲をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。 人々と積極的にコミュニケーションを図ってきた経験をもち、そのことを具体的に説明できる表現力をもってのこと。
人間科学部	心理行動科学科	<ol style="list-style-type: none"> 人間の心や身体、社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。 人間の心や身体、社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。 自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。 人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。
国際学部	国際教養学科	<ol style="list-style-type: none"> 外国語学習への意欲をもち、何かしらの実践をしていること。 どんなことをなぜ学びたいのかが明確であること。 自分と異なる背景を持つ人と接した経験があること。 書物や新聞などを読み、知識や教養を深めようとしていること。 「国際」とはどのようなことを意味するか、自分の経験や知識に基づいて具体的に説明できること。

「第一次選抜審査申請書」記入上の注意

1. 記入にあたっての一般的注意

- ・出願者本人が記入してください（4頁目の指導教員所見等記入用紙は除きます）。
- ・ボールペンを用い、黒または青のインクで書いてください。
- ・楷書でていねいに書いてください。修正の際は、~~修正~~のように二重線を用いて修正し、訂正印を押してください。修正液等は使用しないでください。
- ・「審査申請書」の質問について、与えられた行内におさまるように記入してください。書くことが多い場合には、内容をまとめて記入してください。

2. 「出身校」の欄について

- ・高等学校もしくは中等教育学校卒業（または卒業見込み）以外の方、たとえば高等専門学校3年修了や高等学校卒業程度認定試験（大検合格含む）で受験資格を取得（または取得見込み）の方は、この欄を利用し、適宜修正して書いてください。

3. 「現住所」の欄について

- ・現在住んでいて、すぐに連絡のとれる住所・電話番号を記入してください。

4. 「現在の身分」の欄について

- ・社会人の方は、[] 内に職業も記入してください。無職の場合は無職と記入してください。
- ・1～4のどれにも該当しない方は、5. その他の[] 内に具体的に記入してください。

5. 「指導教員所見等記入用紙」について

- ・高校生・中等教育学校生は、現在在学する学校の指導教員に記入してもらってください。
- ・既卒者と高等学校卒業程度認定試験受験者または合格者等は、この用紙の提出は不要です。

記入を担当する教員の方へ

「指導担当所見等記入用紙」は、本学ホームページ内（「高校教員の方」のページ：
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/highschool/> または右記QRコード）
より、所定用紙のワードファイルがありますので、ご利用ください。



《所見記入者について》

所見を記入する教員は、出願者を何らかの形で指導している教員（クラス担任や部活動顧問の先生等）であれば誰でもかまいません。ただし、出願後、出願者と本学との連絡を仲介できる教員です。

《学習成績の状況について》

「全体の学習成績の状況」のほかに、学習成績の状況の高い5教科（5科目ではない）について教科名と学習成績の状況を記入してください。なお、下記に指定されている教科の学習成績の状況を必ず含めて5教科を記入してください（文学部歴史学科は指定はありません）。

学 部	学 科	教 科
文 学 部	英文学科・総合人文学科・教育学科	「外国語(英語)」
経 済 学 部	経済学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
経 営 学 部	経営学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
法 学 部	法律学科	「国語」「公民」「外国語(英語)」
工 学 部	機械知能工学科、電気電子工学科、環境建設工学科	「理科」「数学」
地域総合学部	地域コミュニティ学科	「国語」「外国語(英語)」
	政策デザイン学科	「国語」「公民」「外国語(英語)」
情 報 学 部	データサイエンス学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
人 間 科 学 部	心理行動科学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
国 際 学 部	国際教養学科	「国語」「外国語(英語)」

東北学院大学出願書類（ダウンロード分一式）

- **入学志願票（見本）**

WEB出願システムで入力すると必要事項が記載された入学志願票が自動生成されます。
生成された入学志願票を必ずA4判普通紙に印刷してください。

- **総合型選抜第一次選抜審査申請書（様式）**

A4判普通紙に片面印刷してください。

- **総合型選抜第一次選抜審査申請書（指導教員所見記入用紙）（様式）**

A4判普通紙に印刷してください。

※入学志願票以外は本学ホームページより取得し印刷することも可能です



入学志願票

見本

志願者	カナ氏名		性別
	氏名		
	生年月日		

出身 高校等	出身 高校等		課程・学科	
	都道府県		卒業(見込)年月	

連絡先	住所		
	電話番号(自宅)		電話番号(携帯)

志願内容

選抜	学部学科	試験日	会場
WEB出願システムで入力すると必要事項が記載された入学志願票が自動生成されます。生成された入学志願票をA4判普通紙に印刷してください。			

--

東北学院大学
総合型選抜
第一次選抜審査申請書

この申請書は提出時4枚セットとなります

受付番号

※この欄は記入しないこと

写真貼付欄

写真（正面上半身脱帽）出願前3ヶ月以内に撮影したものを、糊付けしてください。
また、写真裏面には必ず氏名を記入してください。
(横3cm×縦4cm)

作成日	西暦	年	月	日
-----	----	---	---	---

志望学部学科	学部	学科
--------	----	----

フリガナ				出身校	都・道 府・県	（国立） （公立） （私立）	学校	科 コース
氏名								
生年月日	西暦	年	月	日生	(西暦 年 月：卒業見込・卒業・認定)			
現住所	郵便番号	-	電 話	-	-	現在の身分	1. 高校・中等教育学校生 4. 社会人	
		都・道 府・県					2. 予備校生 [職業]	3. 自宅で受験勉強 5. その他 []

次のI～IXの質問に答えてください（全部で3ページあります）

I. 本学全体および志望する学部の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）をふまえながら、あなたが本学への入学を希望する理由について記述してください。

見本

II. あなたが出願した本学の学科に入学したとき、その学科で学生として、どのような学修を行いたいと考えていますか。学科の理念・目的・求める学生像に対する理解や考え方をふまえながら、学修計画について記述してください。

※なお、記述にあたっては「受験ガイド2024」または「総合型選抜募集要項」に載っている「総合型選抜における重要評価点（学科別）」をよく読んでください。

III. あなたがこれまでに習った（習っている）科目のなかで、成績の良い悪いとは関係なしに、最も興味をもった科目を2つ挙げてください。また、それらには、特にどんな点（あるいは内容・領域）で興味をもちましたか。

① 科 目：

どのような点：

② 科 目：

どのような点：

IV. ここ数年の間に起こった出来事・現象のなかで、あなたが最も興味を感じたものを挙げてください。また、それは、特にどんな点で興味をもちましたか。

事 柄：

どのような点：

見本

V. 現在のあなたの生活において、あなたが最も充実した時間を過ごしていると感じるのは、どんなときですか。

VI. あなたは出願した本学の学科に入学したとき、学修以外にどんな大学生活を送りたいと考えていますか。

VII. あなたは、現在のところ、大学卒業後の進路について、どんなことを考えていますか。

VIII. あなたがもっている能力、資質、適性、経験、資格などを紹介しながら、特にアピールしたいことを記述してください。

受付番号	記入不要
氏名	

第一次選抜審査申請書
(指導教員所見等記入用紙)

- この用紙は、指導を担当される高等学校または中等教育学校の先生がご記入の上、受験者が作成する「第一次選抜審査申請書」(3枚)とあわせてご提出ください。
- 既卒者と高等学校卒業程度認定試験受験者または合格者等は、この用紙の提出は不要です。

■指導教員の所見

高等学校・中等教育学校からの出願者について、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)に関連して、本学が出願者を評価するうえで参考になることを記述してください。

■記入欄



記載者

印

■連絡先

学校名
学校の住所 〒
電話
FAX

■学校における学習成績の状況

教科	全体					
学習成績の状況						

【注意】全体の学習成績の状況と、学習成績の状況の高い5教科について記入してください。
なお、下記に**指定されている教科の学習成績の状況を含めて5教科**を必ず記入してください。
(文学部歴史学科は指定はありません)

学部	学科	教科
文学部	英文学科・総合人文学科・教育学科	「外国語(英語)」
経済学部	経済学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
経営学部	経営学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
法学部	法律学科	「国語」「公民」「外国語(英語)」
工学部	機械知能工学科、電気電子工学科、環境建設工学科	「理科」「数学」
地域総合学部	地域コミュニティ学科	「国語」「外国語(英語)」
	政策デザイン学科	「国語」「公民」「外国語(英語)」
情報学部	データサイエンス学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
人間科学部	心理行動科学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
国際学部	国際教養学科	「国語」「外国語(英語)」

試験場案内図

